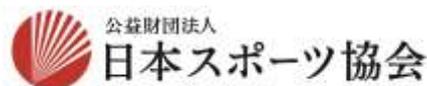


# 公益財団法人日本スポーツ協会の 取組について

## — 女性スポーツ委員会の取組み —



# 女性のスポーツ参加拡充のための活動環境整備に関する取組と女性スポーツ委員会の設置について

## 【目的】

女性のスポーツに関する**活動環境の充実や改善**を通じて、**女性のスポーツ参加（参画）を促進し、より公平なスポーツ文化の確立**を目指す。

## 【対応】

女性スポーツの活動環境の充実や改善を通じて、女性のスポーツ参加（参画）の拡大と実施率の向上を実現するため「**女性スポーツ委員会**」を設置し、**事業横断的な活動方針を策定し、効果的な事業間連携を推進**する。

## 女性スポーツ委員会

- 1.女性のスポーツ参加（参画）及び活動の促進に関すること
- 2.女性アスリート\*及び女性スポーツ指導者の支援に関すること
- 3.スポーツ団体における女性登用の促進に関すること
- 4.女性アスリート\*への暴力・暴言、セクシュアルハラスメントの根絶に関すること
- 5.女性のアクティブ・ライフを支援するスポーツ活動プログラムの開発に関すること
- 6.その他、女性のスポーツ参加（参画）促進に関すること

※ここで言う「女性アスリート」とは、スポーツに関わる全ての女性を指す。

## 【日本スポーツ協会の現状】

- 国民体育大会女子種別の充実、女性スポーツ指導者の拡充、スポーツ少年団女子団員・指導者の活動環境の充実など、女性スポーツの環境改善に取り組んできたが、各事業における対応を総合的に検討・実施する体制が必要な状況
- 「倫理規程」及び「倫理に関するガイドライン」の制定（平成16年）、「スポーツ界における暴力根絶宣言」（平成25年）、「スポーツ指導者のための倫理ガイドライン」の作成（平成25年）など、暴力や体罰、あらゆるハラスメントの防止に取り組んでいるが、未だ根絶に至らない状況
- 役員（理事・監事）のうち女性が占める割合は2割
- 女性アスリート健康支援委員会設立に参加し、同委員会理事・社員として役職員を派遣するとともに、同委員会事務局を本会職員が担当

## 第2期スポーツ基本計画

### 「スポーツを通じた共生社会等の実現」

女性のスポーツ参加と活躍拡大のため、女性のスポーツ実施率の向上、女性アスリート支援に取り組むとともに、スポーツを通じた女性の活躍促進会議の開催を計画

## ブライトン・プラス・ヘルシンキ宣言への署名

第2期スポーツ基本計画の作成に伴い、スポーツを通じた女性の活躍促進における我が国の取組みを国際発信するとともに、継続的に国際的な女性スポーツの動向の把握や情報収集及び国際的な議論への参画を円滑に図るため、平成29年4月10日にスポーツ庁、JSC、JOC、日障協、本会がブライトン・プラス・ヘルシンキ宣言に署名

# 女性スポーツ委員会の取組

## 【方向性】

- (1) スポーツに参加(参画)している人に対するアプローチ
- (2) スポーツに参加(参画)していない人に対するアプローチ

## 【目指す姿】

- (1) スポーツ界が女性の活躍をリード（社会の模範）
- (2) 日本スポーツ協会が女性スポーツ支援をリード（スポーツ界の模範）

## 【取組(例)】

- (1) スローガンの策定・発信
- (2) 好循環事例の収集・発信
- (3) スポーツ庁等関係団体との連携・協働
- (4) 国内外調査等の検証、調査・研究の実施
- (5) 研修等を活用した情報発信

# 女性スポーツ委員会の取組

## 【2018年度の取組】

- (1) 事業横断的な活動方針（具体的なアクションとそのロードマップ）の設定
- (2) 2018年度中に実行可能なアクションの実行

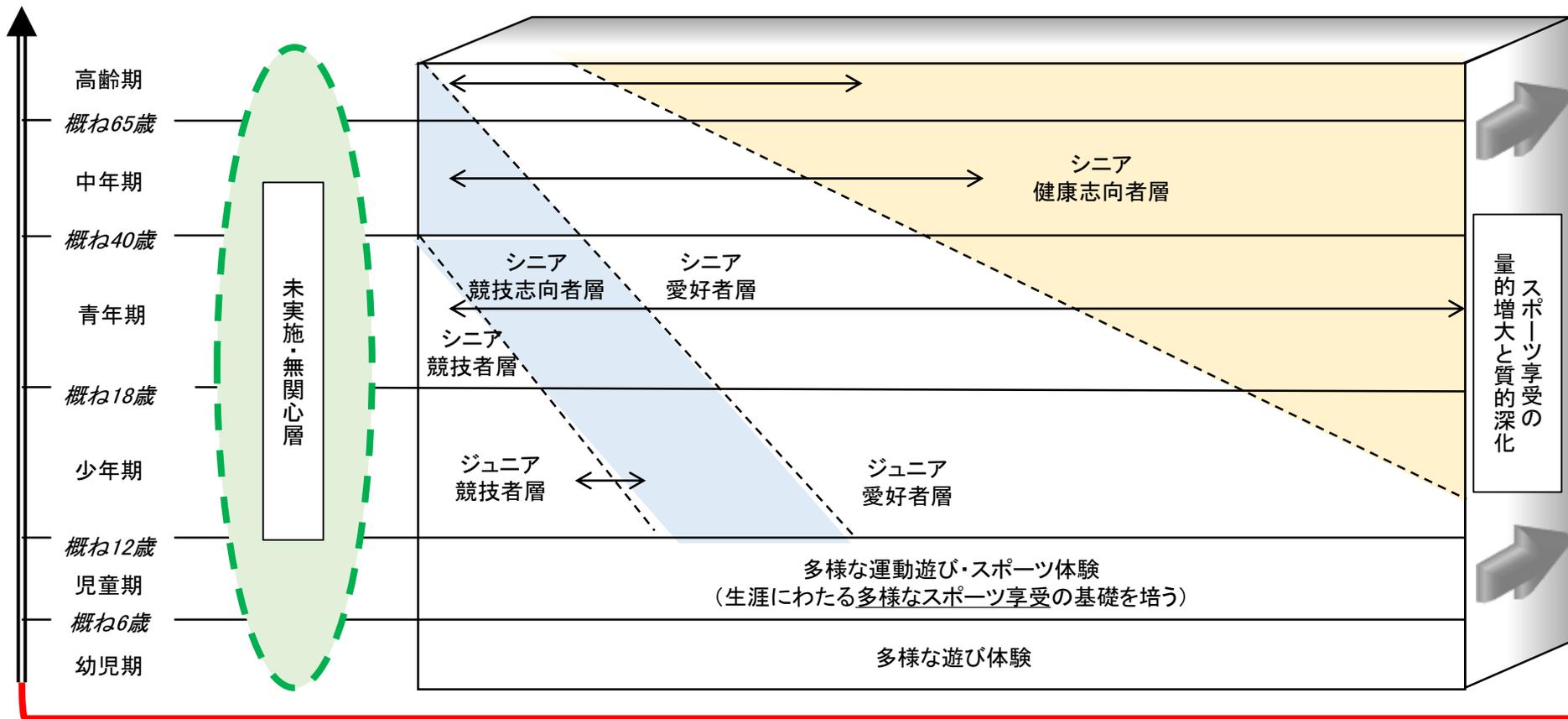
## 【留意点】

- (1) 「国民体育大会委員会」「スポーツ少年団」等の各委員会及び関係部署との連携
- (2) 「スポーツ施設の整備・充実」「金銭的な援助・支援」といった直接的なアプローチは困難

## 【今後の委員会開催予定】

- ☆ 第2回女性スポーツ委員会 2018年6月28日(木) 15:00～
- ☆ 第3回女性スポーツ委員会 2018年12月頃
- ☆ 第4回女性スポーツ委員会 2019年3月頃

## ＜女性スポーツ委員会の対象範囲＞



### スポーツに参加(参画)していない人に対する取組

### 既にスポーツに参加(参画)している人に対する取組

日本スポーツ協会  
事業



国体

マスターズ

国際交流

スポーツ少年団

総合型クラブ

スポーツ指導者

スポーツ医・科学研究

『「スポーツ宣言日本」が目指す社会像の実現に向けた多様なスポーツ享受モデル』(日本スポーツ協会、2018)を一部改変

※多様なスポーツ享受＝スポーツをする・みる・ささえる・表現する・分析・評論する等  
 ※量的増大＝多様なスポーツ享受のための時間(機会)・空間(場所)・仲間の増大  
 ※質的深化＝スポーツ実践の個人的・社会的価値の高まりと実践内容の質的な深まり  
 ※グラデーション(濃淡)＝スポーツ享受の量的な増大と質的な深化の度合い